

浜通り復興リビングラボ【令和7年度 マッチング結果】（R7.9.30時点）

社名	実証事業名	実施自治体
1 株式会社マスヒロ	<p>未来の街作り 電動モビリティで二次交通と地域創生</p> <p>免許返納者等の日常生活に必要な公共交通や来訪者が周遊するための移動手段が不足している状況に対し、電動モビリティ（16歳以上であれば免許が不要な電動キックボードやシニアカー等）を用いることで解決を図る。実証事業においては試乗会やモニターツアーを実施し、電動モビリティへの理解を深めると共に、地域の課題に応じて2輪、3輪・4輪等、多様なモビリティでの有効性を検証する。</p>	<p>いわき市 川俣町 浪江町</p>
2 ローテックメディカルジャパン株式会社	<p>ポータブルエコーとエクササイズを組み合わせたフレイル予防プログラムの開発</p> <p>ポータブルエコーを使用し歩行に関する足の筋肉の状態を見える化するとともに、現地トレーナーと連携し老化した筋肉を改善するエクササイズを提供する。継続的に筋肉の変化が視覚化されることで、自ら運動をしてみたいと思わせ、歩行機能の維持に直接的に貢献するとともに、外に出て周囲の人と会話する機会を提供することにより、お達者度の改善や認知症予防につながる等、間接的な生きがい創出にも貢献する。</p>	<p>いわき市</p>
3 コドモエナジー株式会社	<p>蓄光プレートを使った獣害対策 光で守る、畑と暮らし。電源不要の新ソリューション</p> <p>高輝度蓄光素材『ルナウェア』を既存の進入防止柵等に取り付けることで、野生鳥獣の進入防止対策を行う。『ルナウェア』は無電力で発光するため、電源の確保や配線工事が不要、設置場所を選ばない等の利点があり、農業従事者の負担が少ない獣害対策としての活用が期待できる。</p>	<p>いわき市 楢葉町 川内村 大熊町 浪江町</p>
4 株式会社フジタ株式会社ふたば	<p>ドローン・画像解析技術を活用した高線量下での森林管理の効率化</p> <p>地元企業(株)ふたばのUAV活用技術とフジタのドローン緑地管理手法を用いて、高放射線量下における山林内（帰還困難区域を想定）において、ドローン及び画像解析技術を活用して放射線量計測、資源量調査、アクセス路となる林道の損傷状況の確認を行い、今後の森林管理に資する現状把握と管理の安全・効率化を図る。</p>	<p>浪江町</p>

浜通り復興リビングラボ【令和7年度 実証事業】（R7.9.30時点）

令和7年度は9市町村にて12民間企業による10実証事業を実施

R6年度開始事業

【相馬市、浪江町×大日本印刷】

ドローンによる撮影やデータ分析等を活用した
獣害対策の支援

【南相馬市×大日本印刷】

服薬サービス事業（ドローンによる調剤配達・遠隔
地での服薬管理サポート）

【広野町、浪江町×フェイス】

カーボンクレジットを活用した脱炭素型・
高収益稲作体系の検証と普及

【いわき市、川内村、浪江町×Agnavi】

日本酒一合缶による地域産品の発信

【いわき市×NTTデータ経営研究所】

自治体職員のまちづくりマネジメント力向上のための
研修プログラム開発

【いわき市×首都高速道路、首都高技術、 セーフィー】

道路パトロールシステムを活用したインフラ管理支援

R7年度開始事業

【いわき市、川俣町、浪江町×マスヒロ】

電動モビリティの二次交通としての有効性検証

【いわき市×ローテックメディカルジャパン】

ポータブルエコーとエクササイズを組み合わせた
フレイル予防プログラムの開発

【いわき市、檜葉町、川内村、大熊町、 浪江町×コドモエナジー】

電源を必要としない蓄光プレートを使った
獣害対策の支援

【浪江町×フジタ、ふたば】

ドローン・画像解析技術を活用した高線量下での
森林・林道管理の効率化



区域

- 特定復興再生拠点区域(解除済み)
- 帰還困難区域
- 避難指示解除区域

令和7年度実証事業実施市町村
過年度実証事業実施市町村